

庄内協同ファームだより

No.165 2017年3月号



発行/

〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野338
tel.0235-78-2120 fax.0235-78-2140
<http://www.shonafarm.com>

「未来の日本代表!？」



おかげで今まで車のミラーを1回、戻のガラスを2枚割られたことがあります。「好きこそ物の上手なれ」ということわざがありますが、程々にとてもらいたいものです。練習場所は隣町ということで車で片道20分、正直送迎が大変ですが子供たちが楽しそうに行っているのでこれも親の務めと思い妻と時間調整しながら送っています。両親は「まだ小学生だからそんなにやらなくともいいんじゃない。大変だろう」と言いますが、実は一番大変なのは子供や親ではなく監督やコーチです。自分達にも家庭があるにも関わらず指導してくれます。「サッカーは常に周りを見る、そしてボールを止めて考え、そして蹴るの繰り返し。上級

私には小学5年と2年の2人息子がおり、3年前からスポーツサッカーに通っています。私自身サッカーには無縁で、友人達と作ったチームでナイター野球をやっているということもあり野球を勧めたかったのですが本人がどうしても習いたいと言う事で通わせる事になりました。練習は平日の夜2回と土日の週4回。この4回では足りずに学校から帰つてきでは友達とサッカーをしています。

おかげで今まで車のミラーを1回、戻のガラスを2枚割られたことがあります。「好きこそ物の上手なれ」ということわざがありますが、程々にとてもらいたいものです。練習場所は隣町ということで車で片道20分、正直送迎が大変ですが子供たちが楽しそうに行っているのでこれも親の務めと思い妻と時間調整しながら送っています。両親は「まだ小学生だからそんなにやらなくともいいんじゃない。大変だろう」と言いますが、実は一番大変なのは子供や親ではなく監督やコーチです。自分達にも家庭があるにも関わらず指導してくれます。「サッカーは常に周りを見る、そしてボールを止めて考え、そして蹴るの繰り返し。上級

生になると成長期を迎えることになります。その大きさや力に任せてサッカーをしては上手にならない。今のうちにしっかりと基本を身につけてほしい」と話してくれました。サッカーをする

うえで最高の環境、最高の指導者がいる中でやらせてもらえることに感謝したいと思います。長男は今年U12という最年長で全少に挑み、次男はクラブチームに移籍することになりました。酉年だけに2人にとつて飛躍する年になつてもらいたいものです。

昨年の暮れに隣の集落の方から水田の委託を頼されました。面積にして約5町歩です。その集落では担い手が少なく、残っている農家も手がいっぱいで断られたとの事でした。私の集落の従事農業者の平均年齢は50歳台後半、世間では高齢化の話になつています。我が家が集落ではまだ先の事と思つていましたがそうも言つていられない状況になつてきました。面積が増えるとすることは今までよりスマートな肥培管理はもちろん、適期作業の為、機械の大型化を進めていかなくてはなりません。また今まで播種、田植え以外は私一人でやつてきましたが雇用についても考えなければなりません。経済的な事も絡んでくるので家族と良く話し合っていながら今まで以上に楽しい農業に励んでいこうと思います。



福島餅つき交流会に 参加して

高橋 紀子



1月26日、27日の1泊2日でいこーろふくしまさんと森農園さん、そして庄内協同ファームが共催した福島県本宮市にある浪江町の住人のみなさんが暮らす仮設住宅にお邪魔して、毎年恒例となった餅つき交流会に参加してきました。震災から6年が過ぎ、その翌年から始まったこの餅つき交流会も今年で6回目となりました。1年に1度懐かしい顔に会える大切な場でしたが、震災当時は70世帯程あった仮設住宅も、復興公営住宅などの整備が整う中で、引っ越ししていく方が多く、今では13世帯の方々が残るのみとなり、あと1年余りで仮設住宅が終わりを迎える予定との事でした。いつまでも「仮設」と呼ばれる場所に居続ける訳にはいかない。それは当たり前の事ですが、6年間の交流で私はいつもここに来ればみなさんに会えるふるさとのように感じていたので、とても淋しく思いました。そんな事情もあり、今回が最後の交流会になるかもしれないからと、引っ越ししていく住民の方々もたくさん集まって下さり、70名近い参加者となりました。いこー

ろふくしまの組合員ママさんや浪江のお母さん方にお手伝いしていただきながら、岩のり風味の庄内風雑煮餅、きな粉餅、あんこ餅、森農園さんの新鮮なほうれん草と小松菜のしゃぶしゃぶをお腹一杯頂きました。昔ながらの杵と臼を使った餅つきでは、地元のベテランお母さんから返しをしていただき、庄内と福島の力自慢のお父さんたちが交替しながら餅つきをして「よいしょ!よいしょ!」の掛け声が響き、笑顔が弾けました。「ここに来ると笑顔になれる!」「庄内の餅の味は別格!」と言って頂き、微力ですが続けてきて本当によかったです。来年は、この場所でなくとも餅つき交流は続けていきたいねと約束し、名残惜しみながら福島を後にしました。いつも前日の意見交換の場や、会場準備、宿泊先などの手配をしてくださったいこーろふくしまの皆様、本当にありがとうございました。夏の庄内浜ツアーでまた会いましょうね!



商
品
紹
介

ひしもち



ひなまつりの
起源は諸説あり

ますが、平安時
代の貴族による

雅な遊び事とし
て行われていた

記録があります。

女の子の人形遊
びと桃の節句の
儀式が結びつき、
江戸時代より全
国的に広まり、

雛人形が飾られるようになつたようです。

さて、その雛人形といつしょに鮮やかな
彩を与えるアイテムとして、ひしもちがあ
ります。そこで今回は庄内協同ファームの
ひしもちを紹介します。

ひしもちの白はお餅そのままの色、桃色
は紅麹色素、緑は山形県産のよもぎを使用
しています。原料は農薬を最小限減らして
栽培された「でわのもち」というもち米品
種を使用しています。

飾り終えた後は、小さく切って、そのま
ま焼いて食べたり、せんざいにしたり、乾
燥させてから碎いて油で揚げれば、ひしも
ちのおかきになります。

ちのおかきになります。

ひしもちの色や形には、女の子の成長を
願う意味が込められています。縁起の商品
ですので、健康や長寿の願いとともに、ひ
しもちを食べて、元気に春を迎えましょう。

庄内協同ファームのひしもちをどうぞよ
ろしくお願いします。

ほんちゃん



日頃より「ほんちゃん」をご利用いただき

まして、ありがとうございます。「ほんちゃん」は合鴨農法のお米

を穀類膨張機、通称
「爆弾」により膨らま
したものに、グラニュー
糖を蜜掛けして乾燥
させます。ふっくらお

いしく召し上がつて頂ける逸品となつてい
ます。また姉妹品といたしまして、「三色
ぼんちゃん」を販売させていただいており
ます。白は従来の「ぼんちゃん」をベース
に、紅は「紅麹」で、緑は「モロヘイヤ粉
末」で色付けした自然由来のものを使用し
ております。目で見て楽しく食べて体に優
しい、安全安心なおやつです。お雛様に飾
つていただければ幸いです。

庄内おかあさんの ～おいしい台所～



志藤知子



庄内協同ファームのもち粉ときな粉を
使って、おいしいおやつを手作りしてみ
ましょう！

～きな粉もち～

(材料) もち粉(50g)、きな粉(100g)、砂糖(120g)、くるみ(適量)、水(140cc)

(作り方)

1. きな粉100gとふるった砂糖80gを大きなボールに入れ混ぜて、真ん中を空けておく。
2. 鍋に水140ccともち粉50gを入れ、水溶きしてから火にかける。練りながら火が通ったら降ろして残りの砂糖を40g入れてよく混ぜる。
3. 1のボールの中に2を入れ、きな粉を混ぜ入れながらこねる。
4. ほのかな粉が混ざったらくるみを入れる。
- ※好みの形にして成形して出来上がりです。

模様のついたセロハン紙で包んで両端をリボンで結んだり、工夫したいでおしゃれな
手作り菓子になります。簡単にできるので、是非お試し下さい。

※砂糖の分量は好みによって
減らしても大丈夫です。
作り方2の砂糖40gを除いても作れます。

ペンリレ〇徒然草

富樺俊一

く趣味万歳く



今年から息子

に經營を譲り、
晴れて高齢者の
仲間入りする事

となつた。やつ

と好きな事を遠慮せずにやれると思つて



いたら、お上の方で今の年代の人は昔と違つてまだ若い。まだまだ働いていたいきたいと急転換。高齢者から中年に逆戻り。うれしいやら、悲しいやら！まあそれはそれとして、節目として今後は楽しく生きたい。どうせ生きるなら楽しまにや損ということで、今回は私の趣味の

枝豆や米の無農薬栽培を続けて二十数年になるが、いまだに困るのが雑草。

仕事の半分ぐらいはこの雑草対策に費やしてきた事と思う。その草が趣味とはまったく笑つてしまふ。名前こそ山野草といふ呼び方をするけれど、立派な雑草の仲間である。トラクターで田や畠を耕してみると、その季節によつて様々な種類や色の野の草が一面に咲いている時がある。「ああきれいだのー！」とその姿に感動することがある。農家だったら誰でも一度は感じた事があると思う。雑草という名の草はないのだが、厄介者、邪魔者としか見えない時や、心に余裕がない時は雑草という呼び方になつてしまふ。しかし見方や気持ちに余裕がある時は芸術品にも見え、心が癒される。畦に咲いている気に入つた草を少しだけ持ち帰り、流木に植えてみたらなんか様になつたりする。調子に乗つてお気に入りの鉢なんかを見つけて植えてみるとこれがまたいい。もう立派なアートと自画自賛。楽しきりやそれでいい。見る人も楽しめたらなおいい。田や畠の草取りは本当に大変なのが、家の前で鉢をいじつているとあつという間に時間が過ぎてしまう。仕事に疲れた時、その姿を眺めながらビールをぐびーっと飲む。いやー天国。疲れもすつ飛ぶ。春先にハウスの中ですーっと十日間ぐらい植え替えを

う。山野草を取り上げてみたいと思う。枝豆や米の無農薬栽培を続けて二十数年になるが、いまだに困るのが雑草。

一生懸命に働き、わずかな時間を作り育て楽しむ。趣味万歳！草に悩まされ、草に癒される。楽しみはこれからも続く。

するのだが、咲く時の姿を、あでもないと想像

しながらのひと時は、私にとつてはまさに「至福のとき」なの

少しづつ春が近づいてきましたが、まだまだ寒い日が続いています。先日

娘の雛人形を買うため、見に行つてきました。表情や衣装が一人一人違つていて、店内には本当に様々な雛人形があり、次から次へと目移りしてしまうほどでした。今は三段飾りやケース飾り、収納付きのものが人気で、昔とは

違い、七段八段飾りはあまり出ないと

の事です。「雛人形には厄除けの意味もあり、子供を守つてくれるもの。家族みんなの想いを込めて飾るものだから、ぜひお子さんと一緒に飾つてくれださいね。自分が大切にされているとわかれ、同じようにお子さんもお人形を大切にしますよ」という話を聞いて、

ますますどれにしようか悩んでしまいました。散々悩んで結局、娘のようないつぱいがふつくらしているお雛様に決めました。

昔はほとんど飾り付けを手伝うこと

もなかつたですが、今は母と一緒に飾るのが楽しいと感じるようになりました。娘のために！という気持ちが自分も親になり、わかつた気がします。これからも健やかな成長と

あとがき



「働く農機具」サブソイラー

水田の作土の下にある心土(床層)や、トラクターなどの重みで出来た畠の硬い層(硬盤)を破碎し、地中に排水を良くする溝や亀裂を入れ、心土を膨軟する機械で、ナイフの部分を土中に貢入し前進させる。色々なタイプがあり、トラクターに装着し作業する。

ます。
(紅)

